

12月の野菜の見通し

令和4年11月30日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント***
	前年実績*	平年比 見込**	5カ年* 平均	前年実績*	前年比 見込*** (%)	5カ年 平均*	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	10,778	多い	11,191	60	100%	78	2	0.0%	千葉・神奈川産は干ばつ気味だったが11月中旬に降雨あり12月は安定した出回りが見込まれる。徳島産も少量出始めるが作付減。全体の予想入荷量は平年並み。見通し単価は前年並みも平年を2割下回る。
はくさい	15,358	並み	15,853	34	132%	52	3	0.0%	茨城産中心の出回り。シーズン序盤の分は作付減であったが12月分は例年並みに植わっている模様。12月上旬は現状の単価からやや下向くも、下旬は年末を見据えて需要高まり相場上昇となる予想。数量は前年・平年並み。見通し単価は安かった前年を大きく上回るも平年比では1割下回る。
キャベツ	13,993	並み	13,684	56	107%	83	1	0.0%	愛知産を中心に千葉・神奈川産の出回り。干ばつ傾向見られるが降雨もあるため大きな問題はないと見る。全体量は平年並みと十分で、年末差し迫った頃に引き合い高まる流れか。見通し単価は前年をやや上回るも平年を2割下回る。
ほうれん そう	1,485	並み	1,393	457	98%	564	1	0.1%	関東産、やや前進傾向で11月中旬はピークとなり多かったが12月上旬は気温下がり数量減から相場浮上。中旬でいったん落ち着くも下旬は年末需要あり再び相場上昇の見込み。予想入荷量は前年・平年並み。見通し単価は前年並みも平年を1割以上に下回る。
ねぎ	5,696	並み	5,754	260	108%	305	103	1.8%	北日本産が切り上がる中、茨城・千葉・埼玉産が生育順調で十分な出回りに。現状、荷動きは鈍いが12月上旬にかけて出荷ピークとなるため相場は軟調推移の気配。下旬は例年のように年末需要高まり相場浮上する流れ。全体量は前年・平年並み。見通し単価は前年をやや上回るも平年をやや下回る。

12月の野菜の見通し

令和4年11月30日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント***
	前年実績*	平年比 見込**	5カ年* 平均	前年実績*	前年比 見込*** (%)	5カ年 平均*	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
きゅうり	4,458	多い	4,166	340	99%	462	-	-	宮崎産を中心に高知や関東産の出回り。12月上旬は関東産の残量あり数量十分も中旬からは減少して相場浮上の気配。また、年末にも幾分か引合いは高まるものとみる。全体量は前年を若干下回るも平年並み。見通し単価は前年並みで平年を2割以上に下回る。
トマト	4,478	並み	4,812	452	100%	419	3	0.1%	中心となる熊本産は前年ほど病害もなく生育は概ね順調。愛知や関東産地も大きな問題はないが燃油価格が高いので加温控えめとなれば数量面にも影響あるか。順調にいけば全体量は少なかった前年を上回り平年並み。見通し単価は前年並みで平年をやや上回る。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)*、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)**、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)***

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)